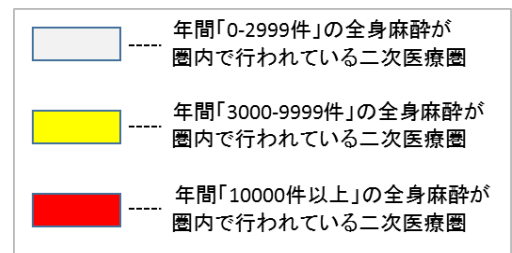
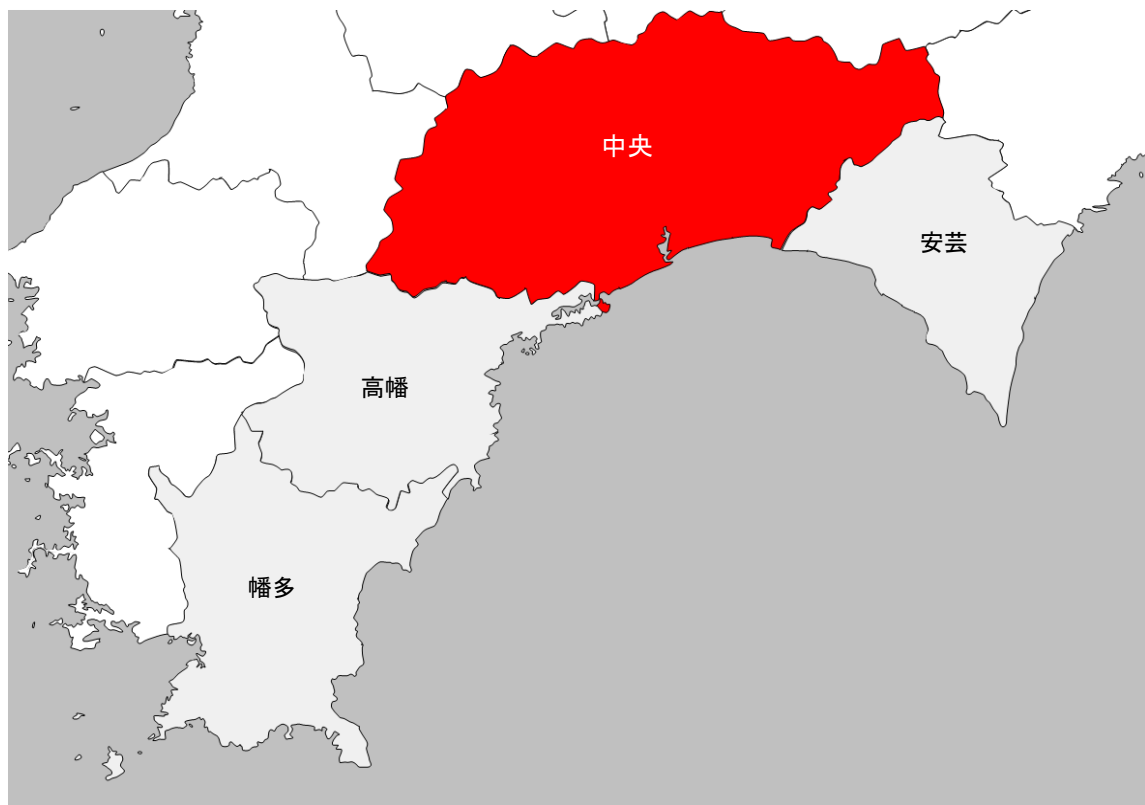


39. 高知県

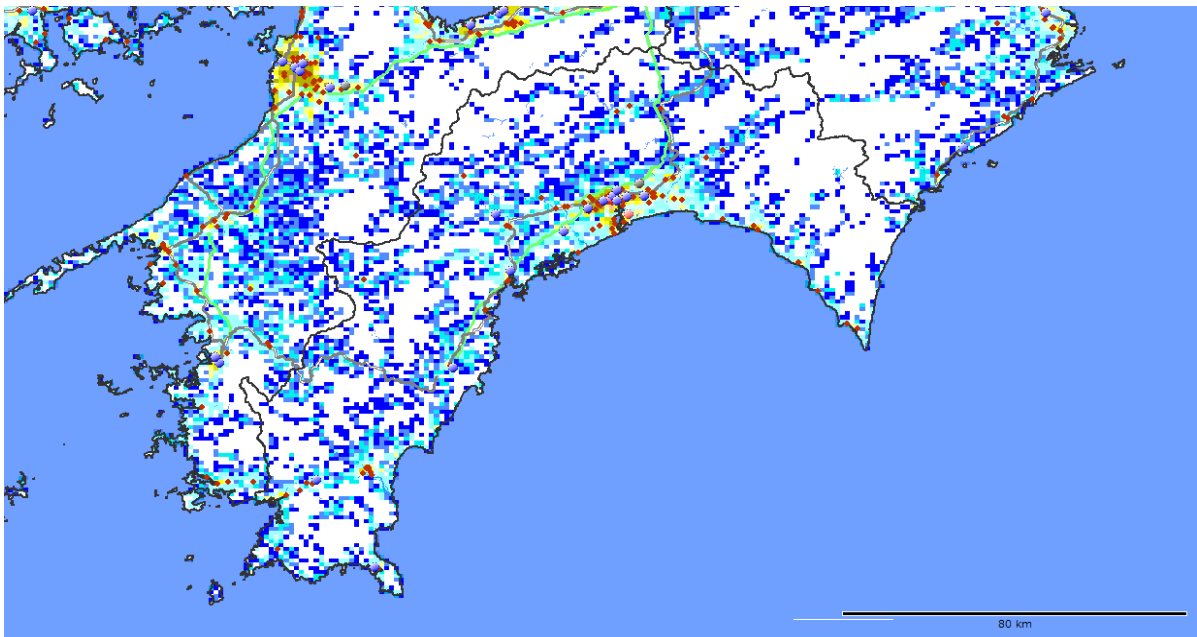


目次

高知県	39	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	39	-	8
1. 安芸医療圏	39	-	20
2. 中央医療圏	39	-	25
3. 高幡医療圏	39	-	30
4. 幡多医療圏	39	-	35

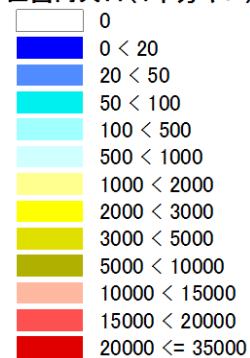
39. 高知県

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画 (1km²メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。
赤色系統は人口が多く (10,000人/km²以上)、黄色系統は
中間レベル (1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が
少ない (1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS
Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口 (1平方キロ)



DPC病院



(高知県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 高知県は、総人口約728千人(2015年)、面積7,104km²、人口密度は103人/km²である。

*人口の将来予測： 高知県の総人口は2025年に653千人へと減少し(2015年比-10%)、2040年に536千人へと減少する(2025年比-18%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の125千人が、2025年にかけて147千人へと増加し(2015年比+18%)、2040年には136千人へと減少する(2025年比-7%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 高知県の一人当たり医療費(国保)は415千円(偏差値64)、介護給付費は268千円(偏差値54)であり、医療費は高く、介護給付費はやや高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 高知県の一人当たり急性期医療密度指数は1.49、一人当たり慢性期医療密度指数は3.7で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が57(病院医師数60、診療所医師数46)と、総医師数、病院医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は71と非常に多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は67で、一般病床は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は51と全国平均レベルである。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は81と療養病床数は非常に多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値84と非常に多く、回復期病床数は偏差値69と非常に多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は61で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は48で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 高知県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、13,045人(75歳以上1,000人当たりの偏差値49)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が8,108床(偏差値53)、高齢者住宅等が4,937床(偏差値47)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、10,108人(75歳以上1,000人当たりの偏差値51)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設42、特別養護老人ホーム47、介護療養型医療施設80、有料老人ホーム42、軽費ホーム75、グループホーム61、サ高住41である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値37と少なく、在宅療養支援病院は偏差値57と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値41と少ない。介護職員(在宅)の合計は、1,192人(75歳以上1,000人当たりの偏差値43)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は±0%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

2. 推移

【人口と医療需要】

高知県の総人口は、2005年796,292人が、2015年に728,276人と9%減少し、2025年の人口が652,757人と予測され、2005年→2025年の間に18%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に2%増加し、2015年から2025年にかけて2%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

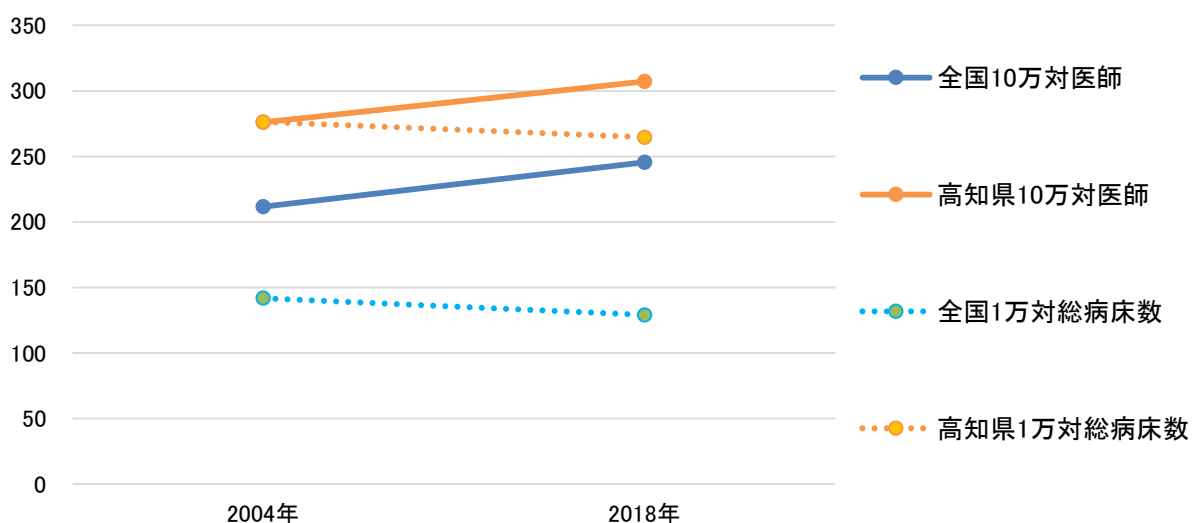
2004年の病院数が142(人口10万人当たり17.8病院(全国平均7.1)偏差値78)であったが、2018年に126(人口10万人当たり17.3病院(全国平均6.6)偏差値77)となり、14年間で16病院が減少した。

2004年の診療所数が602(人口10万人当たり76診療所(全国平均76)偏差値50)であったが、2018年に560(人口10万人当たり77診療所(全国平均80)偏差値48)と、42診療所が減少した。

2004年の総病床数が21,999床(人口1万人当たり276(全国平均142)偏差値74)であったが、2018年に19,272床(人口1万人当たり265(全国平均129)偏差値76)と、2,727床の減少、率にして12%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

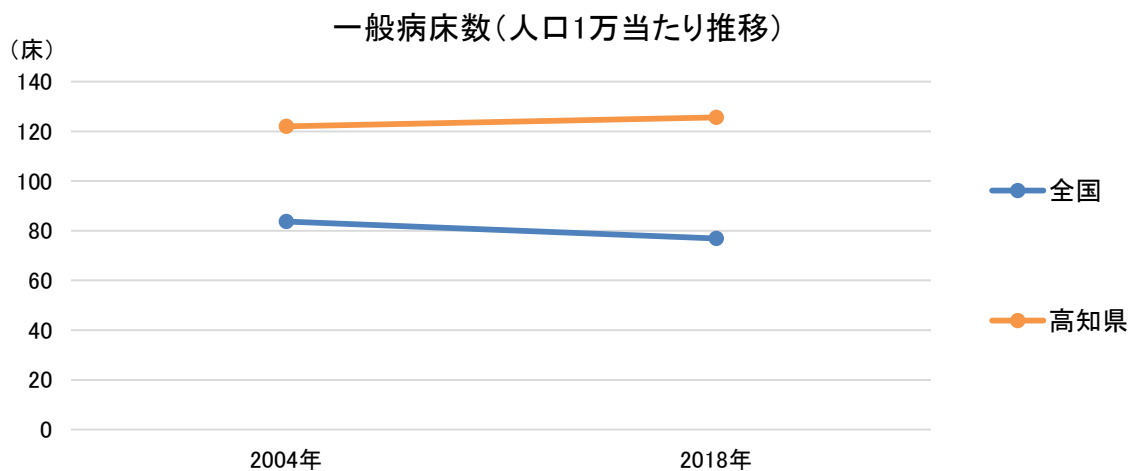
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が2,197人(人口10万人当たり276人(全国平均212人)偏差値58)であったが、2018年に2,237人(人口10万人当たり307人(全国平均245人)偏差値57)と、40人の増加、率にして2%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



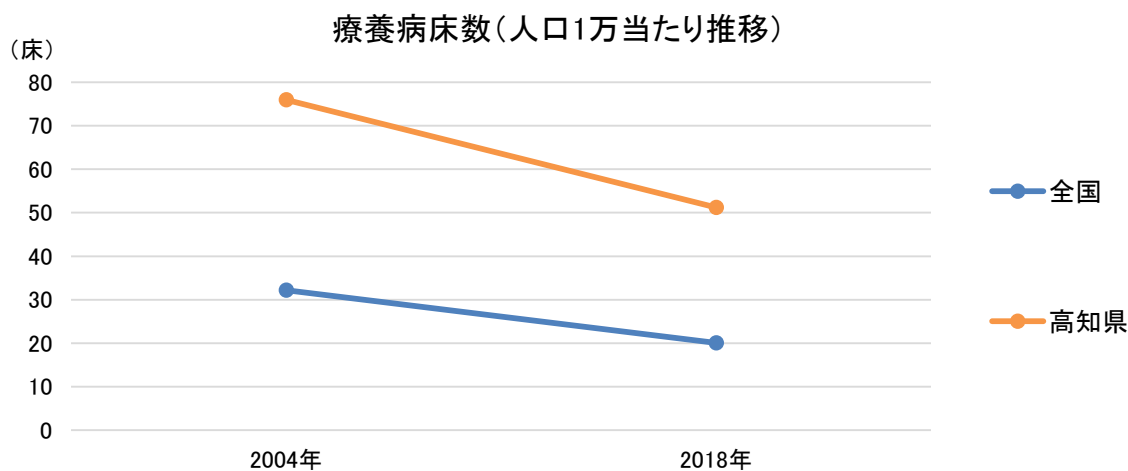
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が9,715床(人口1万人当たり122(全国平均84)偏差値64)であったが、2018年に9,146床(人口1万人当たり126(全国平均77)偏差値69)と、569床の減少、率にして6%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



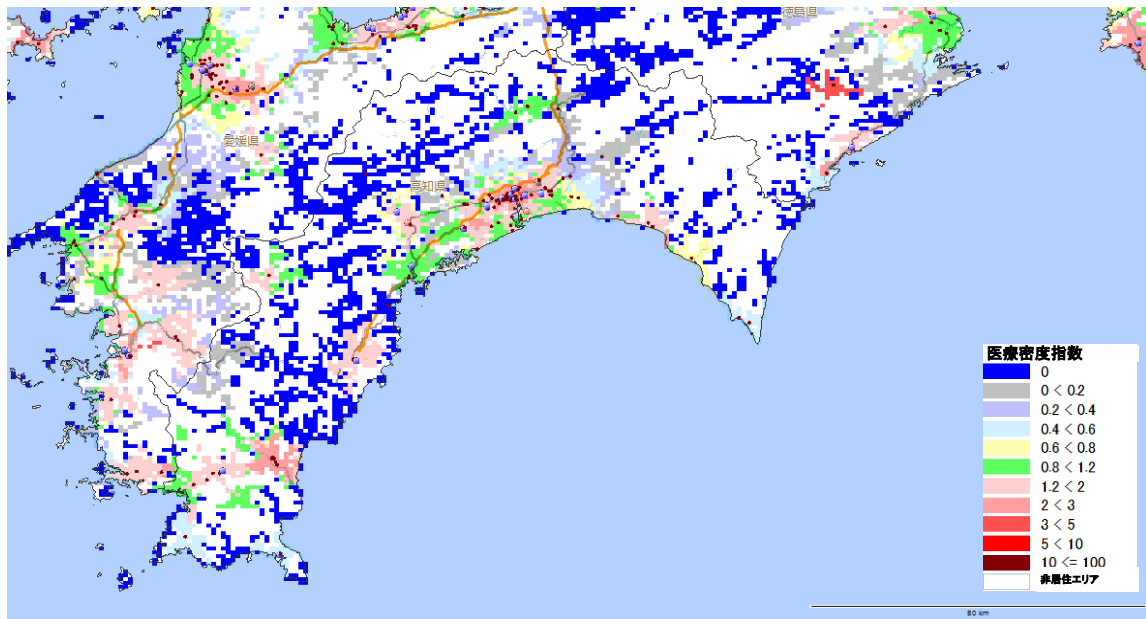
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が8,080床(75歳以上1,000人当たり76(全国平均32)偏差値75)であったが、2018年に6,406床(75歳以上1,000人当たり51(全国平均20)偏差値78)と、1674床の減少、率にして21%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



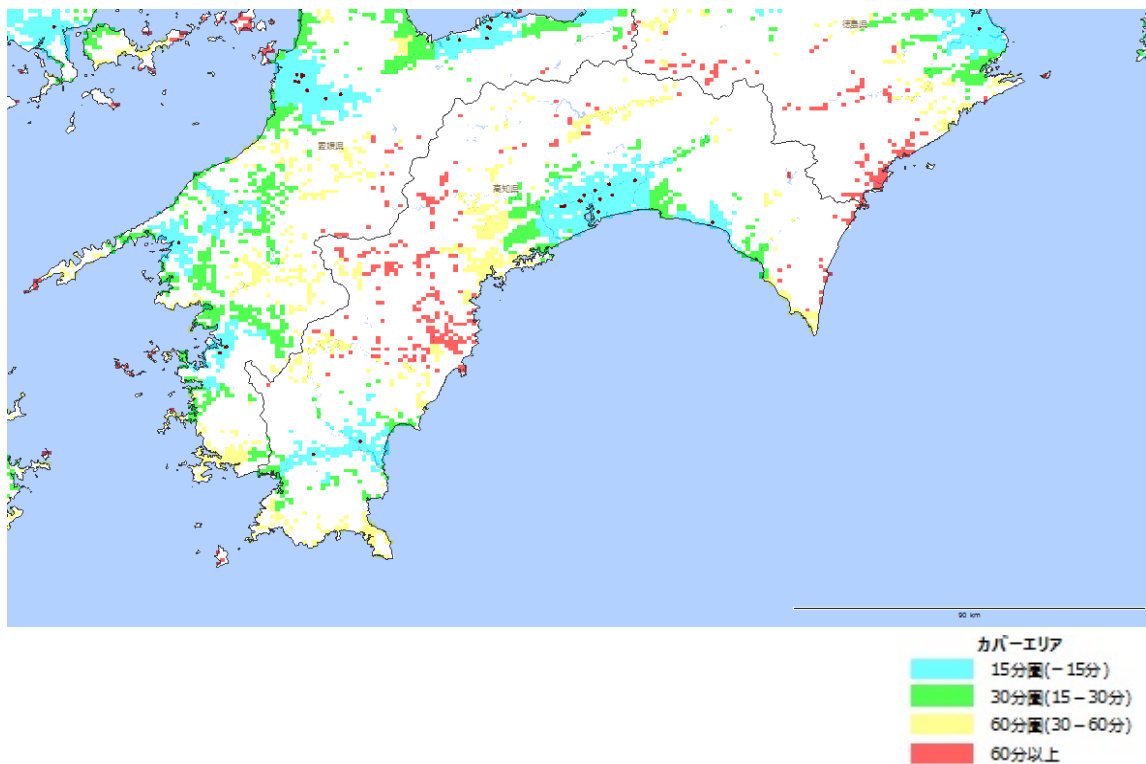
(高知県) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表39-1 急性期医療密度指数マップ



図表39-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))



資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料

資_図表 39-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	127,095		372,950		340.8		27%	122,544	110,919	16,322	21,800	22,392	-4%	-9%	34%	3%
高知県	728	45位	7,104	18位	102.5		33%	653	536	125	147	136	-10%	-18%	18%	-7%
安芸	48	7%	1,129	16%	42.8	過疎地域型	41%	39	27	11	11	9	-19%	-31%	0%	-18%
中央	537	74%	3,008	42%	178.5	地方都市型	31%	494	422	84	103	99	-8%	-15%	23%	-4%
高幡	56	8%	1,405	20%	40.0	過疎地域型	40%	46	33	13	13	11	-18%	-28%	0%	-15%
幡多	87	12%	1,562	22%	55.6	過疎地域型	38%	73	54	18	20	17	-16%	-26%	11%	-15%
出典	<人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月 <面積>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月															

資_図表 39-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度		
			2019年 ベッド数	2025年目標 ベッド数	2025年充足度 指数 (%)
全国	1.00	1.00	1,499,244	1,772,098	-18.2%
高知県	1.49	3.70	12,123	12,114	0.1%
安芸	0.82	4.00	950	914	3.8%
中央	1.72	3.24	8,071	8,425	-4.4%
高幡	0.53	3.44	1,174	1,118	4.8%
幡多	1.13	1.39	1,928	1,656	14.1%
出典	<一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2016年度版)序章【参考資料】参照(日医総研WP no.375)) <75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2019年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。				

資_図表 39-3 国保の医療費・地域差指数、全体の介護給付費

二次医療圏	一人あたり医療費 (国保のみ) (単位:千円)			入院費 (単位:千円)			入院外+調剤 (単位:千円)			被保険者一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	
	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数
全国	356	(44)	1.000	139	(31)	1.000	192	(17)	1.000	255	(34)
高知県	415	64	1.123	190	67	1.316	202	56	1.010	268	54
安芸	455	73	1.230	200	70	1.382	232	73	1.161	289	60
中央	421	65	1.140	192	67	1.334	204	57	1.025	266	53
高幡	385	57	1.036	176	62	1.210	188	47	0.934	278	57
幡多	383	56	1.017	183	64	1.241	179	43	0.882	259	51
出典	<一人あたり医療費>平成29年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成29年度介護保険事業状況報告(年報) 平成29年度累計(平成29年3月サービス分から平成30年2月サービス分まで) ※介護給付費の二次医療圏値の算定には、福岡県と沖縄県の一部市町村が二次医療圏をまたぐ広域連合を構成しているため、構成市町村の75歳以上人口による按分を用いた。また、複数の二次医療圏をもつ横浜市および川崎市は同じデータを記載。										

資_図表 39-4 後期高齢者の医療費・地域差指数

二次医療圏	一人あたり後期高齢者 医療費 (単位:千円)			入院費 (単位:千円)			入院外+調剤 (単位:千円)		
	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	
全国	929	(120)	1.000	466	(100)	1.000	429	(38)	1.000
高知県	1,162	69	1.218	717	75	1.462	416	47	0.980
安芸	1,154	69	1.226	650	68	1.352	475	62	1.113
中央	1,230	75	1.307	772	81	1.601	427	50	1.003
高幡	1,050	60	1.101	651	69	1.318	374	36	0.876
幡多	929	50	0.985	547	58	1.129	360	32	0.845
出典	<一人あたり医療費>平成29年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

資_図表 39-5 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数				診療所数			
	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,372		6.6	(3.9)	102,105		80	(19.0)
高知県	126	1.5%	17.3	77	560	0.5%	77	48
安芸	6	5%	12.4	65	38	7%	79	49
中央	94	75%	17.5	78	420	75%	78	49
高幡	8	6%	14.2	69	42	8%	75	47
幡多	18	14%	20.7	86	60	11%	69	44
出典	平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月			

資_図表 39-6 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数(再掲)				無床診療所数				有床診療所数			
	診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	102,105		80	(19.0)	95,171		75	(18.9)	6,934		5.5	(5.8)
高知県	560	0.5%	77	48	483	0.5%	66	45	77	1.1%	10.6	59
安芸	38	7%	79	49	33	7%	68	46	5	6%	10.3	58
中央	420	75%	78	49	356	74%	66	45	64	83%	11.9	61
高幡	42	8%	75	47	40	8%	71	48	2	3%	3.6	47
幡多	60	11%	69	44	54	11%	62	43	6	8%	6.9	53
出典	平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月			

資_図表 39-7 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院総病床数				診療所病床数				病院+診療所病床数			
	病院総病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院+診療所病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,546,554		1,217	(476)	94,853		75	(91)	1,641,407		1,291	(530)
高知県	18,014	1.2%	2,474	76	1,258	1.3%	173	61	19,272	1.2%	2,646	76
安芸	891	5%	1,843	63	51	4%	105	53	942	5%	1,948	62
中央	14,285	79%	2,661	80	1,083	86%	202	64	15,368	80%	2,863	80
高幡	986	5%	1,755	61	38	3%	68	49	1,024	5%	1,823	60
幡多	1,852	10%	2,132	69	86	7%	99	53	1,938	10%	2,231	68
出典	平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資_図表 39-8 病院病床数(一般病床、療養病床、精神病床)

二次医療圏	一般病床数				療養病床数				精神病床数			
	一般病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	療養病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	精神病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	890,712		701	(223)	319,506		251	(200)	329,692		259	(209)
高知県	7,906	0.9%	1,086	67	6,388	2.0%	877	81	3,622	1.1%	497	61
安芸	299	4%	618	46	176	3%	364	56	411	11%	850	78
中央	6,457	82%	1,203	72	5,122	80%	954	85	2,644	73%	492	61
高幡	326	4%	580	45	442	7%	787	77	218	6%	388	56
幡多	824	10%	948	61	648	10%	746	75	349	10%	402	57
出典	平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月			

資_図表 39-9 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期リハビリ病棟病床数				地域包括ケア病棟病床数			
	回復期 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	地域包括 ケア 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	80,806		64	(46)	79,543		63	(71)
高知県	1,092	1.4%	150	69	575	0.7%	79	52
安芸	42	4%	87	55	45	8%	93	54
中央	877	80%	163	71	374	65%	70	51
高幡	88	8%	157	70	11	2%	20	44
幡多	85	8%	98	57	145	25%	167	65
出典	平成29年度病床機能報告 平成29年7月				令和元年6月地方厚生局			

資_図表 39-10 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	440,405	392,862	15,873	1,086,693	494,667	292,291	44.3%	(27%)	5.2%	(22%)
高知県	3,668	3,292	126	13,828	4,489	5,940	42.3%	49	2.1%	49
安芸	270	175	0	621	124	176	58.5%	55	0.0%	48
中央	2,889	2,639	126	11,033	3,756	4,766	41.3%	49	2.6%	49
高幡	30	30	0	909	296	395	9.2%	37	0.0%	48
幡多	479	448	0	1,265	313	603	58.9%	55	0.0%	48
出典	地方厚生局指定一覽令和元年12月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計 公的病院の分類は、「新公立病院改革プラン」と「公的医療機関等2025プラン」の策定対象医療機関および開設者が国の医療機 関とし、それ以外は民間病院とした。									

資_図表 39-11 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔件数				分娩件数			
	全身麻酔 件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	分娩件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	2,217,312		1,745	(819)	923,436		727	(264)
高知県	13,248	0.6%	1,819	51	5,052	0.5%	694	49
安芸	192	1%	397	34	96	2%	199	30
中央	12,252	92%	2,282	57	4,464	88%	831	54
高幡	168	1%	299	32	0	0%	0	22
幡多	636	5%	732	38	492	10%	566	44
出典	平成29年度病床機能報告 ※平成29年6月の月間件数×12				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月 ※平成29年9月の月間件数×12			

資_図表 39-12 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数				病院医師数				診療所医師数			
	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	311,963		245	(92)	208,127		164	(73)	103,836		82	(24)
高知県	2,237	0.7%	307	57	1,715	0.8%	235	60	522	0.5%	72	46
安芸	97	4%	201	45	63	4%	130	45	34	7%	70	45
中央	1,880	84%	350	61	1,459	85%	272	65	421	81%	78	49
高幡	91	4%	162	41	64	4%	114	43	27	5%	48	36
幡多	169	8%	195	44	129	8%	148	48	40	8%	46	35
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月				平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月			

資_図表 39-13 専門医数(総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科専門医数				小児科専門医数				産婦人科専門医数			
	総合内科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	小児科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	産婦人科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	29,158		22.9	(11.4)	14,021		11.0	(4.9)	11,300		8.9	(4.1)
高知県	198	0.7%	27.2	54	75	0.5%	10.3	48	63	0.6%	8.7	49
安芸	5	3%	10.3	39	4	5%	8.3	44	2	3%	4.1	38
中央	184	93%	34.3	60	61	81%	11.4	51	57	90%	10.6	54
高幡	4	2%	7.1	36	3	4%	5.3	38	0	0%	0	28
幡多	5	3%	5.8	35	7	9%	8.1	44	4	6%	4.6	39
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資_図表 39-14 専門医数(皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科専門医数				眼科専門医数				耳鼻咽喉科専門医数			
	皮膚科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	眼科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	耳鼻咽喉科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,732		4.5	(2.2)	9,911		7.8	(3.2)	7,569		6.0	(2.7)
高知県	38	0.7%	5.2	53	57	0.6%	7.8	50	49	0.6%	6.7	53
安芸	2	5%	4.1	48	2	4%	4.1	39	1	2%	2.1	36
中央	33	87%	6.1	57	50	88%	9.3	55	45	92%	8.4	59
高幡	1	3%	1.8	38	2	4%	3.6	37	0	0%	0	28
幡多	2	5%	2.3	40	3	5%	3.5	36	3	6%	3.5	41
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資_図表 39-15 専門医数(精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	9,675		7.6	(3.7)	21,907		17.2	(7.1)	16,875		13.3	(4.6)
高知県	67	0.7%	9.2	54	148	0.7%	20.3	54	127	0.8%	17.4	59
安芸	5	7%	10.3	57	6	4%	12.4	43	3	2%	6.2	35
中央	56	84%	10.4	58	124	84%	23.1	58	105	83%	19.6	64
高幡	0	0%	0	29	8	5%	14.2	46	9	7%	16.0	56
幡多	6	9%	6.9	48	10	7%	11.5	42	10	8%	11.5	46
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資_図表 39-16 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,200		4.9	(2.2)	6,967		5.5	(2.5)	5,943		4.7	(3.2)
高知県	56	0.9%	7.7	63	62	0.9%	8.5	62	43	0.7%	5.9	54
安芸	2	4%	4.1	47	6	10%	12.4	78	1	2%	2.1	42
中央	46	82%	8.6	67	47	76%	8.8	63	39	91%	7.3	58
高幡	5	9%	8.9	68	3	5%	5.3	49	1	2%	1.8	41
幡多	3	5%	3.5	43	6	10%	6.9	56	2	5%	2.3	42
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資_図表 39-17 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	7,382		5.8	(3.3)	1,669		1.3	(1.0)	4,262		3.4	(2.1)
高知県	52	0.7%	7.1	54	10	0.6%	1.4	51	38	0.9%	5.2	59
安芸	1	2%	2.1	39	0	0%	0	37	0	0%	0	34
中央	47	90%	8.8	59	9	90%	1.7	54	35	92%	6.5	65
高幡	2	4%	3.6	43	0	0%	0	37	1	3%	1.8	43
幡多	2	4%	2.3	39	1	10%	1.2	48	2	5%	2.3	45
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資_図表 39-18 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	リハビリテ- ション科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	2,220		1.7	(1.3)	2,758		2.2	(1.5)
高知県	19	0.9%	2.6	57	33	1.2%	4.5	66
安芸	0	0%	0	36	2	6%	4.1	63
中央	18	95%	3.4	62	30	91%	5.6	73
高幡	0	0%	0	36	1	3%	1.8	47
幡多	1	5%	1.2	45	0	0%	0	35
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月							

資_図表 39-19 看護師数(総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,145,134		901	(287)	919,205		723	(243)	225,929		178	(71)
高知県	10,965	1.0%	1,506	71	9,567	1.0%	1,314	74	1,398	0.6%	192	52
安芸	551	5%	1,139	58	442	5%	915	58	109	8%	224	57
中央	8,770	80%	1,633	76	7,714	81%	1,437	79	1,055	75%	197	53
高幡	534	5%	951	52	446	5%	795	53	88	6%	157	47
幡多	1,110	10%	1,277	63	964	10%	1,109	66	146	10%	168	49
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資_図表 39-20 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	薬剤師 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	139,385		110	(57)	311,289		245	(103)
高知県	2,214	1.6%	304	84	1,744	0.6%	239	49
安芸	125	6%	259	76	86	5%	178	44
中央	1,770	80%	330	89	1,420	81%	264	52
高幡	126	6%	224	70	89	5%	158	42
幡多	193	9%	223	70	149	9%	171	43
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月			

資_図表 39-21 在宅医療施設数(在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション)

二次医療圏	在宅療養支援診療所				在宅療養支援病院				訪問看護ステーション			
	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,484		0.9	(0.4)	1,483		0.1	(0.1)	11,549		0.7	(0.2)
高知県	39	0.3%	0.3	37	18	1.2%	0.1	57	62	0.5%	0.5	41
安芸	4	10%	0.4	38	1	6%	0.1	50	5	8%	0.5	39
中央	31	79%	0.4	38	12	67%	0.1	57	46	74%	0.5	43
高幡	1	3%	0.1	32	3	17%	0.2	70	2	3%	0.2	25
幡多	3	8%	0.2	34	2	11%	0.1	53	9	15%	0.5	41
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 令和元年12月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 令和元年12月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 令和元年6月			

資_図表 39-22 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数				介護保険施設定員(病床)数				高齢者住宅定員数			
	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,719,101		105	(17)	1,004,501		62	(12)	714,600		44	(16)
高知県	13,045	0.8%	104	49	8,108	0.8%	65	53	4,937	0.7%	39	47
安芸	978	7%	92	42	666	8%	63	51	312	6%	29	41
中央	8,893	68%	106	50	5,274	65%	63	51	3,619	73%	43	50
高幡	1,212	9%	94	43	870	11%	68	55	342	7%	27	39
幡多	1,962	15%	110	53	1,298	16%	73	59	664	13%	37	46
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資_図表 39-23 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数				特別養護老人ホーム(特養)定員数				介護療養病床数			
	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	368,125		23	(6.0)	584,338		36	(9.9)	52,038		3.2	(3.8)
高知県	2,188	0.6%	17	42	4,094	0.7%	33	47	1,826	3.5%	14.6	80
安芸	220	10%	21	47	410	10%	39	53	36	2%	3.4	51
中央	1,362	62%	16	39	2,437	60%	29	43	1,475	81%	17.6	88
高幡	192	9%	15	37	538	13%	42	56	140	8%	10.9	70
幡多	414	19%	23	51	709	17%	40	54	175	10%	9.8	67
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 39-24 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	有料老人ホーム			軽費ホーム	軽費ホーム			グループホーム	グループホーム		
		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	240,971		14.8	(10.9)	23,545		1.4	(2.1)	204,406		12.5	(5.7)
高知県	722	0.3%	5.8	42	837	3.6%	6.7	75	2,356	1.2%	18.8	61
安芸	34	5%	3.2	39	70	8%	6.6	74	180	8%	17.0	58
中央	578	80%	6.9	43	519	62%	6.2	72	1,600	68%	19.1	61
高幡	0	0%	0	36	70	8%	5.5	69	234	10%	18.2	60
幡多	110	15%	6.2	42	178	21%	10.0	90	342	15%	19.2	62
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 39-25 サービス付き高齢者専用賃貸住宅（サ高住）定員数

二次医療圏	サ高住 (全施設)	サ高住(全施設)			サ高住 (特定 施設)	サ高住(特定 施設)			サ高住 (非特定 施設)	サ高住(非特定 施設)			
		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	245,678		15.1	(7.4)	25,821		1.6	(1.9)	219,857		13.5	(7.1)	
高知県	1,022	0.4%	8.2	41	100	0.4%	0.8	46	922	0.4%	7.4	41	
安芸	28	3%	2.6	33	0	0%	0	42	28	3%	2.6	35	
中央	922	90%	11.0	45	100	100%	1.2	48	822	89%	9.8	45	
高幡	38	4%	3.0	34	0	0%	0	42	38	4%	3.0	35	
幡多	34	3%	1.9	32	0	0%	0	42	34	4%	1.9	34	
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計			令和元年6月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの					令和元年6月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの				

資_図表 39-26 介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サービス従事 看護師数	介護施設			看護師数 (施設)	訪問看護			看護師数 (訪問)			
		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差				
全国	174,893		10.7	(2.2)	119,205		7.3	(1.9)	55,688		3.4	(1.2)
高知県	1,421	0.8%	11.4	53	1,161	1.0%	9.3	60	260	0.5%	2.1	39
安芸	80	6%	7.5	36	64	5%	6.0	43	16	6%	1.5	34
中央	1,004	71%	12.0	56	804	69%	9.6	62	200	77%	2.4	41
高幡	108	8%	8.4	40	98	8%	7.6	52	10	4%	0.8	27
幡多	229	16%	12.9	60	195	17%	11.0	69	34	13%	1.9	37
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 39-27 介護サービス従事介護職員数(介護施設等、在宅介護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事 介護職員 数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (介護施設 等)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (在宅)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,513,115		93	(11.3)	1,294,087		79	(10.6)	219,028		13.4	(5.3)
高知県	11,300	0.7%	90	48	10,108	0.8%	81	51	1,192	0.5%	9.5	43
安芸	1,003	9%	94	52	885	9%	83	54	118	10%	11.1	46
中央	7,564	67%	90	48	6,711	66%	80	51	854	72%	10.2	44
高幡	1,101	10%	86	44	1,040	10%	81	52	60	5%	4.7	34
幡多	1,633	14%	92	49	1,472	15%	83	53	160	13%	9.0	42
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 39-28 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,228,040		75	(35)	552,189		34	(14)	1,116,943		68	(24)
高知県	6,153	0.5%	49	43	1,979	0.4%	16	37	7,157	0.6%	57	45
安芸	335	5%	32	38	107	5%	10	33	599	8%	56	45
中央	4,766	77%	57	45	1,664	84%	20	40	5,536	77%	66	49
高幡	483	8%	38	39	46	2%	4	28	305	4%	24	31
幡多	569	9%	32	38	162	8%	9	32	717	10%	40	38
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 39-29 総人口の推移と医療需要の増減(医療費ベース)

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移(医療費ベース) (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 15年 増減率	2015→ 25年 増減率	2005→ 25年 増減率
全国		127,767,994	127,094,745	-1%	122,544,102	-4%	13%	5%	18%
高知県		796,292	728,276	-9%	652,757	-18%	2%	-2%	0%
安芸	過疎地域型	58,340	48,350	-17%	39,238	-33%	-5%	-11%	-15%
中央	地方都市型	570,302	536,869	-6%	494,297	-13%	5%	0%	5%
高幡	過疎地域型	66,373	56,173	-15%	46,377	-30%	-4%	-9%	-13%
幡多	過疎地域型	101,277	86,884	-14%	72,845	-28%	-2%	-6%	-9%
出典	<人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口,年齢(3区分)・割合,就業者数,昼間人口など) <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月 ※医療需要は(0~64歳人口)+(65~74歳人口)×3.0+(75歳以上人口)×4.9で算出。								

資_図表 39-30 病院数の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,372	6.6	(3.9)	-705	-8%
高知県	142	17.8	78	126	17.3	77	-16	-11%
安芸	8	13.7	67	6	12.4	65	-2	-25%
中央	106	18.6	80	94	17.5	78	-12	-11%
高幡	8	12.1	63	8	14.2	69	0	0%
幡多	20	19.7	83	18	20.7	86	-2	-10%
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

資_図表 39-31 診療所数の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	97,051	76	(20)	102,105	80	(19)	5,054	5%
高知県	602	76	50	560	77	48	-42	-7%
安芸	41	70	47	38	79	49	-3	-7%
中央	437	77	50	420	78	49	-17	-4%
高幡	51	77	50	42	75	47	-9	-18%
幡多	73	72	48	60	69	44	-13	-18%
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

資_図表 39-32 医師数の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	270,371	212	(84)	311,963	245	(92)	41,592	15%
高知県	2,197	276	58	2,237	307	57	40	2%
安芸	109	187	47	97	201	45	-12	-11%
中央	1,771	311	62	1,880	350	61	109	6%
高幡	107	161	44	91	162	41	-16	-15%
幡多	210	207	49	169	195	44	-41	-20%
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2018年>平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月							

資_図表 39-33 総病床数(精神科を含む)の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,812,554	142	(56)	1,641,407	129	(53)	-171,147	-9%
高知県	21,999	276	74	19,272	265	76	-2,727	-12%
安芸	1,255	215	63	942	195	62	-313	-25%
中央	17,195	302	79	15,368	286	80	-1,827	-11%
高幡	1,164	175	56	1,024	182	60	-140	-12%
幡多	2,385	235	67	1,938	223	68	-447	-19%
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

資_図表 39-34 一般病床数(病院+診療所)の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,068,821	84	(28)	977,056	77	(26)	-91,765	-9%
高知県	9,715	122	64	9,146	126	69	-569	-6%
安芸	533	91	53	350	72	48	-183	-34%
中央	7,675	135	68	7,534	140	75	-141	-2%
高幡	461	69	45	358	64	45	-103	-22%
幡多	1,046	103	57	904	104	60	-142	-14%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

資_図表 39-35 療養病床数(病院+診療所)の推移

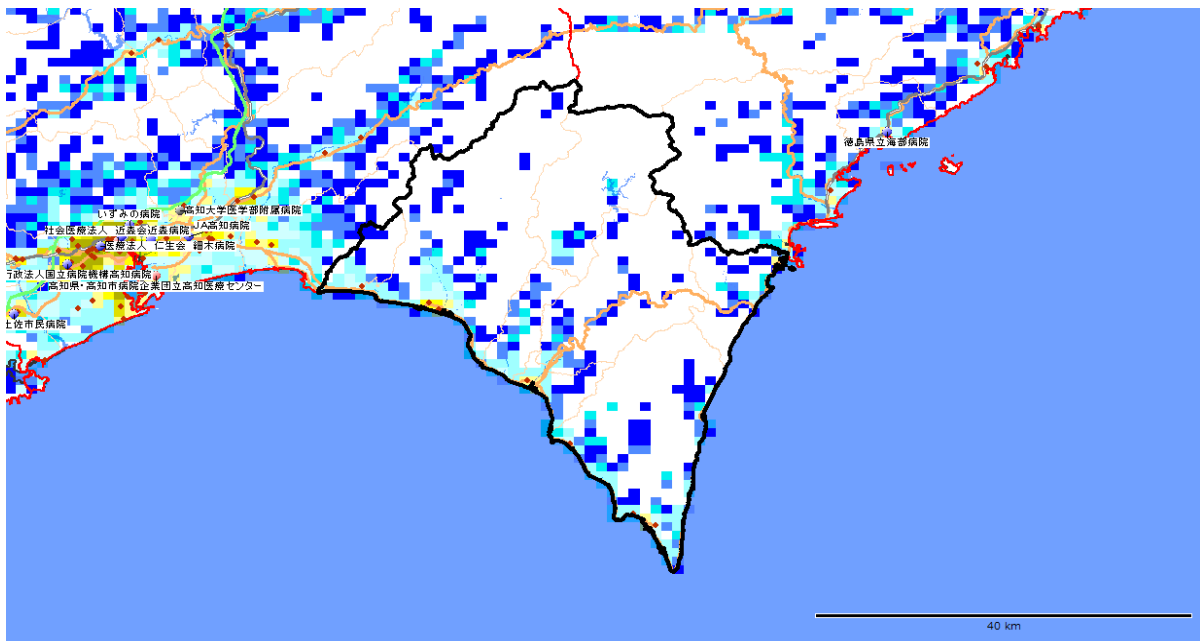
二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	373,823	32	(18)	328,015	20	(11)	-45,808	-12%
高知県	8,080	76	75	6,406	51	78	-1,674	-21%
安芸	220	23	45	176	17	47	-44	-20%
中央	6,416	92	84	5,128	61	87	-1,288	-20%
高幡	485	42	56	448	35	63	-37	-8%
幡多	959	61	66	654	37	65	-305	-32%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

39-1. ^あ_げ 安芸医療圏

構成市区町村 [室戸市](#) [安芸市](#) [東洋町](#) [奈半利町](#)
[田野町](#) [安田町](#) [北川村](#) [馬路村](#)
[芸西村](#)

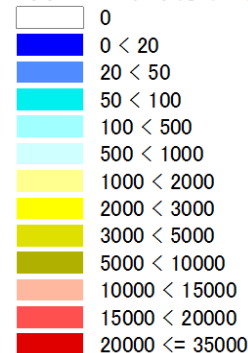
※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(安芸医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 安芸(室戸市)は、総人口約48千人(2015年)、面積1,129km²、人口密度は43人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 安芸の総人口は2025年に39千人へと減少し(2015年比-19%)、2040年に27千人へと減少する(2025年比-31%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の11千人が、2025年にかけて11千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年には9千人へと減少する(2025年比-18%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 安芸の一人当たり医療費(国保)は455千円(偏差値73)、介護給付費は289千円(偏差値60)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 安芸の一人当たり急性期医療密度指数は0.82、一人当たり慢性期医療密度指数は4で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が45(病院医師数45、診療所医師数45)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は58と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は46で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は34と非常に少ない。安芸には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は56と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値76と非常に多く、回復期病床数は偏差値55とやや多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は78で精神病床数は非常に多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は49で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 安芸の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、978人(75歳以上1,000人当たりの偏差値42)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が666床(偏差値51)、高齢者住宅等が312床(偏差値41)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、885人(75歳以上1,000人当たりの偏差値54)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設47、特別養護老人ホーム53、介護療養型医療施設51、有料老人ホーム39、軽費ホーム74、グループホーム58、サ高住33である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値38と少なく、在宅療養支援病院は偏差値50と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値39と少ない。介護職員(在宅)の合計は、118人(75歳以上1,000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は+4%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(安芸医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

安芸医療圏の総人口は、2005年58,340人が、2015年に48,350人と17%減少し、2025年の人口が39,238人と予測され、2005年→2025年の間に33%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に5%減少し、2015年から2025年にかけて11%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

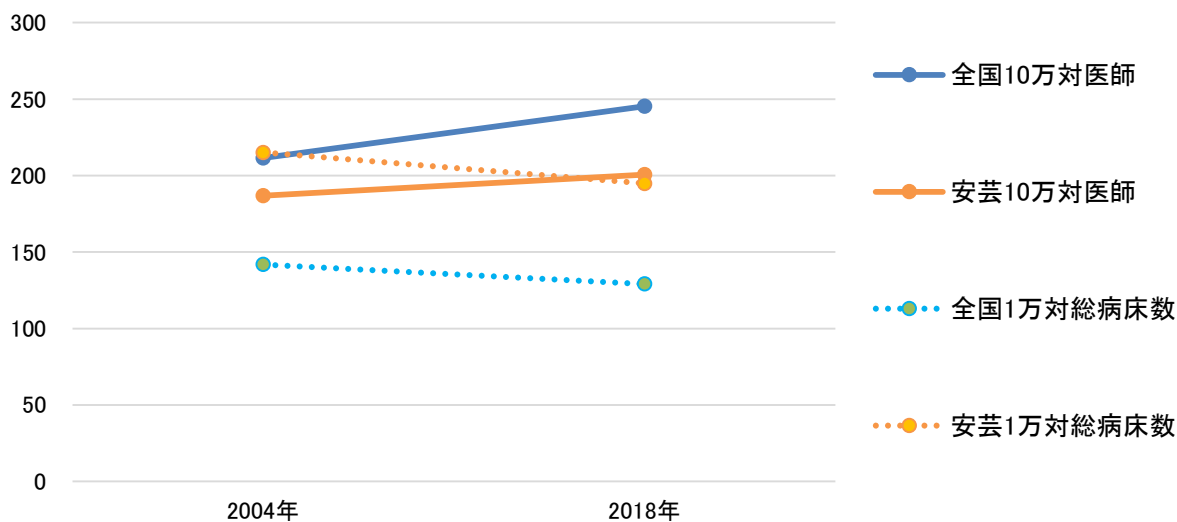
2004年の病院数が8(人口10万人当たり13.7病院(全国平均7.1)偏差値67)であったが、2018年に6(人口10万人当たり12.4病院(全国平均6.6)偏差値65)となり、14年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が41(人口10万人当たり70診療所(全国平均76)偏差値47)であったが、2018年に38(人口10万人当たり79診療所(全国平均80)偏差値49)と、3診療所が減少した。

2004年の総病床数が1,255床(人口1万人当たり215(全国平均142)偏差値63)であったが、2018年に942床(人口1万人当たり195(全国平均129)偏差値62)と、313床の減少、率にして25%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

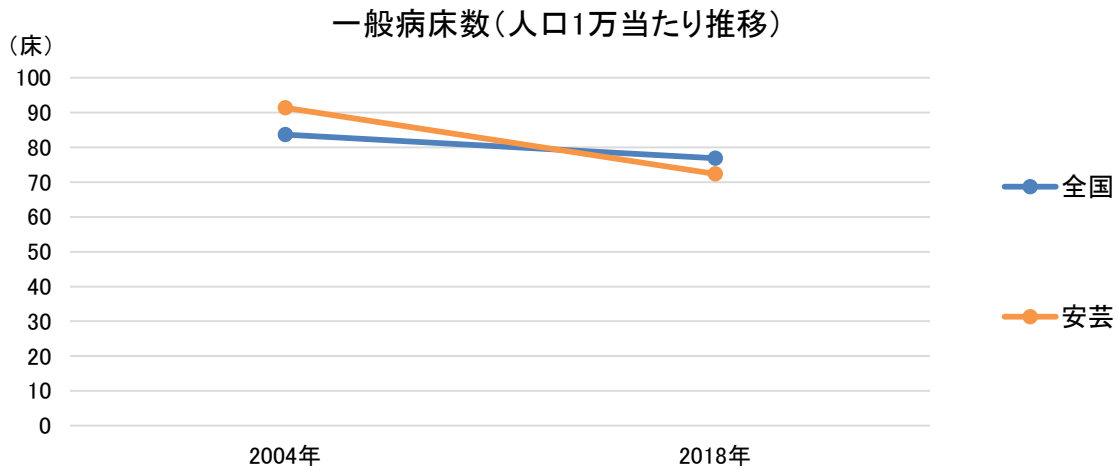
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が109人(人口10万人当たり187人(全国平均212人)偏差値47)であったが、2018年に97人(人口10万人当たり201人(全国平均245人)偏差値45)と、12人の減少、率にして11%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



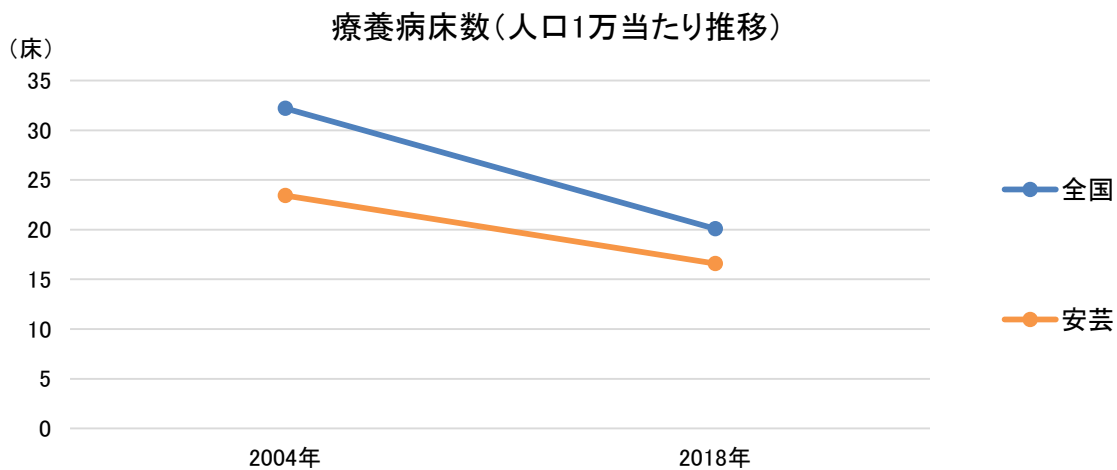
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が533床(人口1万人当たり91(全国平均84)偏差値53)であったが、2018年に350床(人口1万人当たり72(全国平均77)偏差値48)と、183床の減少、率にして34%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



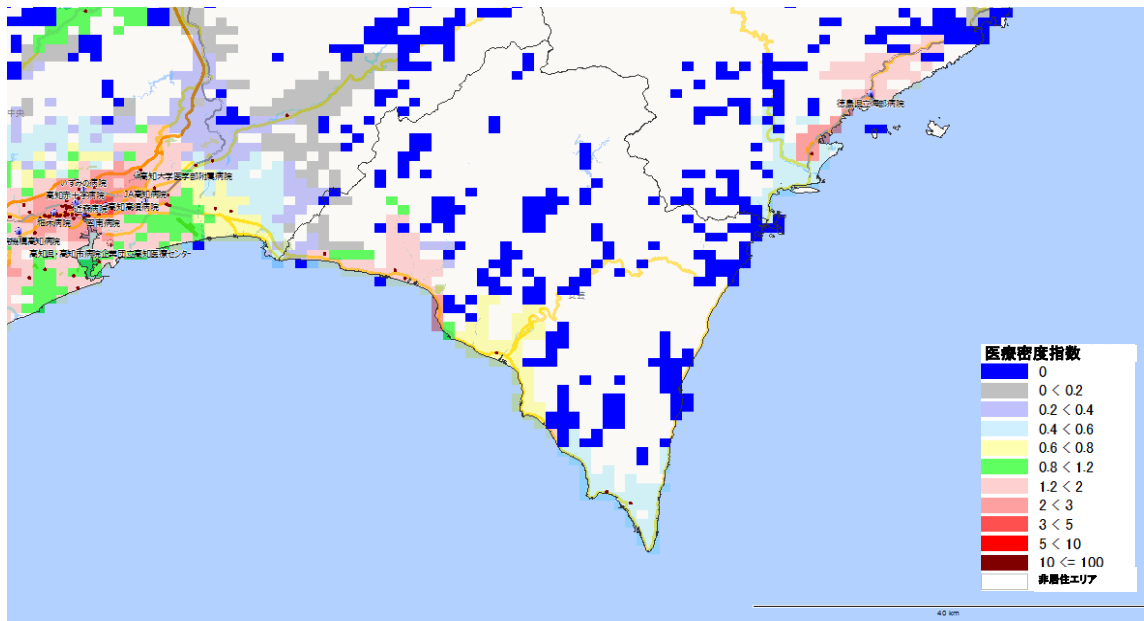
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が220床(75歳以上1,000人当たり23(全国平均32)偏差値45)であったが、2018年に176床(75歳以上1,000人当たり17(全国平均20)偏差値47)と、44床の減少、率にして20%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



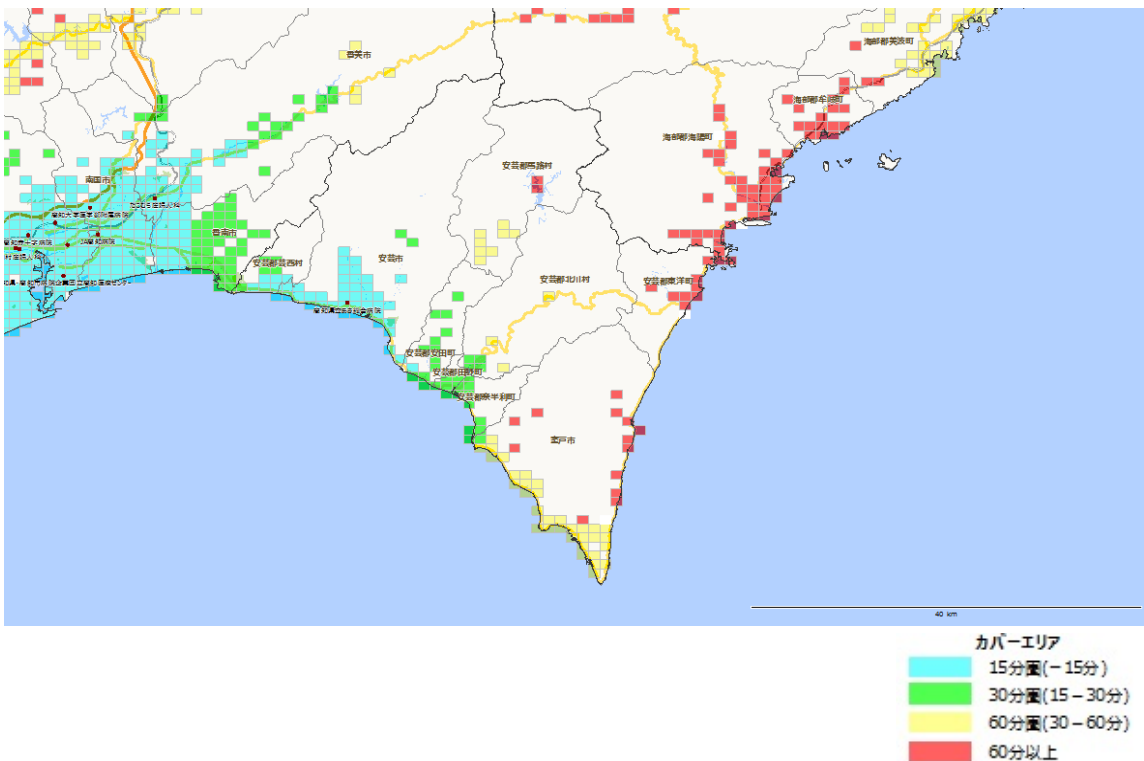
(安芸医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表39-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表39-1-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

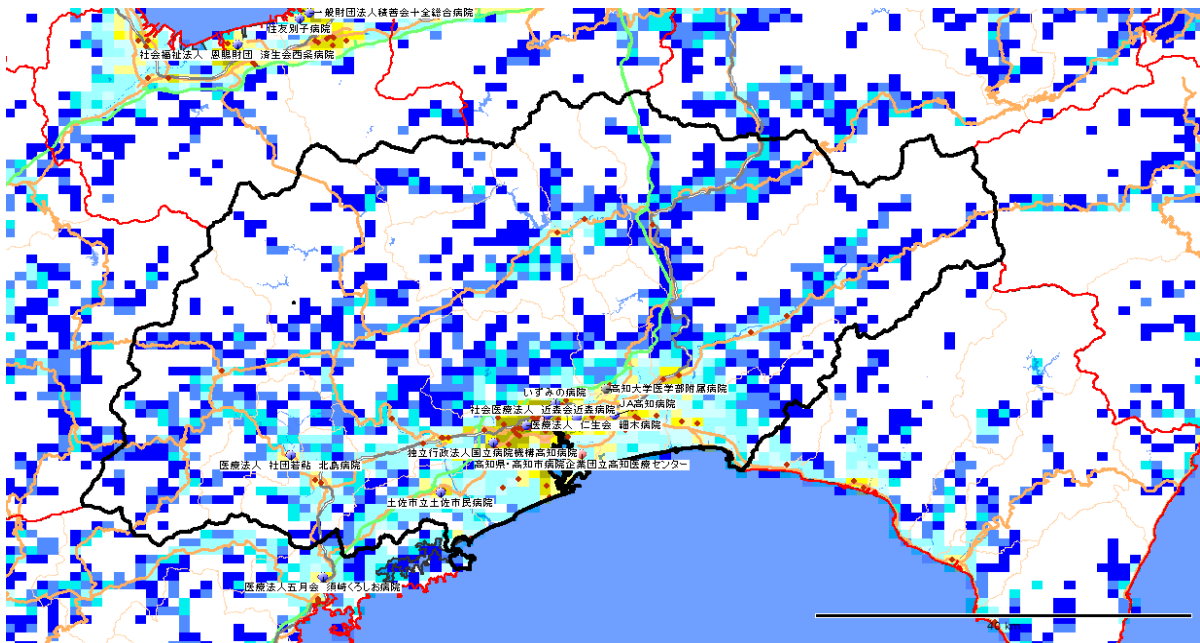


39-2. ちゅうおう 中央医療圏

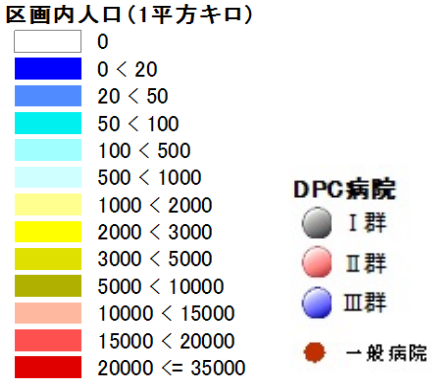
構成市区町村	高知市	南国市	土佐市	香南市
	香美市	本山町	大豊町	土佐町
	大川村	いの町	仁淀川町	佐川町
	越知町	且高村		

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ



(中央医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 中央(高知市)は、総人口約537千人(2015年)、面積3,008km²、人口密度は178人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 中央の総人口は2025年に494千人へと減少し(2015年比-8%)、2040年に422千人へと減少する(2025年比-15%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の84千人が、2025年にかけて103千人へと増加し(2015年比+23%)、2040年には99千人へと減少する(2025年比-4%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 中央の一人当たり医療費(国保)は421千円(偏差値65)、介護給付費は266千円(偏差値53)であり、医療費は高く、介護給付費はやや高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 中央の一人当たり急性期医療密度指数は1.72、一人当たり慢性期医療密度指数は3.24で、急性期の医療も慢性期の医療もかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が61(病院医師数65、診療所医師数49)と、総医師数、病院医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は76と非常に多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は72で、一般病床は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は57と多い。中央には、年間全身麻酔件数が2000例以上の高知医療センター(Ⅱ群・救命)、高知赤十字病院(Ⅱ群・救命)、高知大学医学部附属病院(Ⅰ群)、1000例以上のNHQ高知病院(Ⅲ群)、近森病院(Ⅱ群・救命)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は85と療養病床数は非常に多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値89と非常に多く、回復期病床数は偏差値71と非常に多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は61で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は49で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 中央の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、8,893人(75歳以上1,000人当たりの偏差値50)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が5,274床(偏差値51)、高齢者住宅等が3,619床(偏差値50)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、6,711人(75歳以上1,000人当たりの偏差値51)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設39、特別養護老人ホーム43、介護療養型医療施設88、有料老人ホーム43、軽費ホーム72、グループホーム61、サ高住45である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値38と少なく、在宅療養支援病院は偏差値57と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値43と少ない。介護職員(在宅)の合計は、854人(75歳以上1,000人当たりの偏差値44)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-4%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数ではほぼ対応可能である。

(中央医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

中央医療圏の総人口は、2005年570,302人が、2015年に536,869人と6%減少し、2025年の人口が494,297人と予測され、2005年→2025年の間に13%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に5%増加し、2015年から2025年にかけてほぼ増減なしと予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

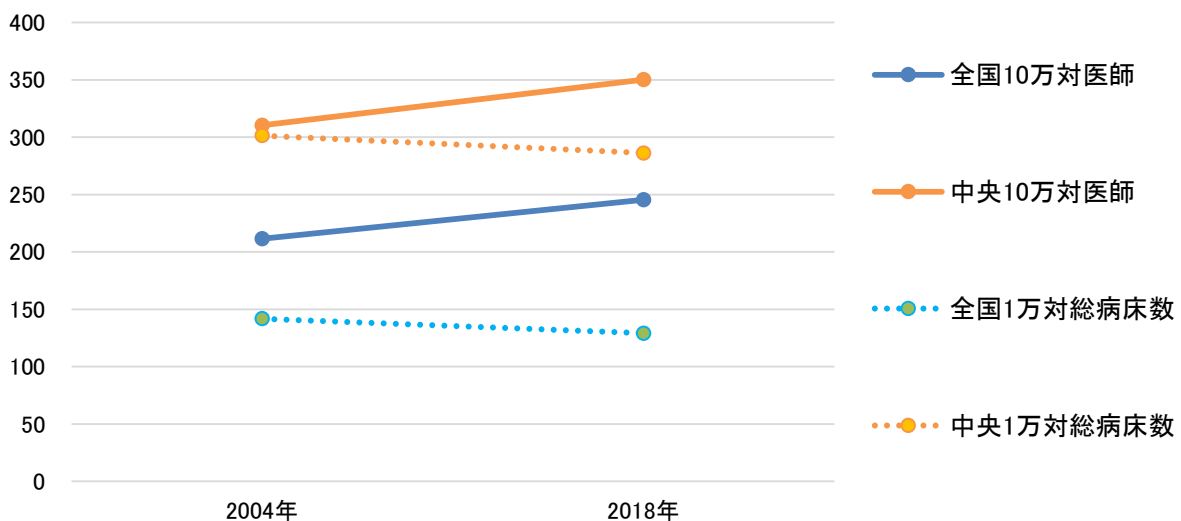
2004年の病院数が106(人口10万人当たり18.6病院(全国平均7.1)偏差値80)であったが、2018年に94(人口10万人当たり17.5病院(全国平均6.6)偏差値78)となり、14年間で12病院が減少した。

2004年の診療所数が437(人口10万人当たり77診療所(全国平均76)偏差値50)であったが、2018年に420(人口10万人当たり78診療所(全国平均80)偏差値49)と、17診療所が減少した。

2004年の総病床数が17,195床(人口1万人当たり302(全国平均142)偏差値79)であったが、2018年に15,368床(人口1万人当たり286(全国平均129)偏差値80)と、1,827床の減少、率にして11%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

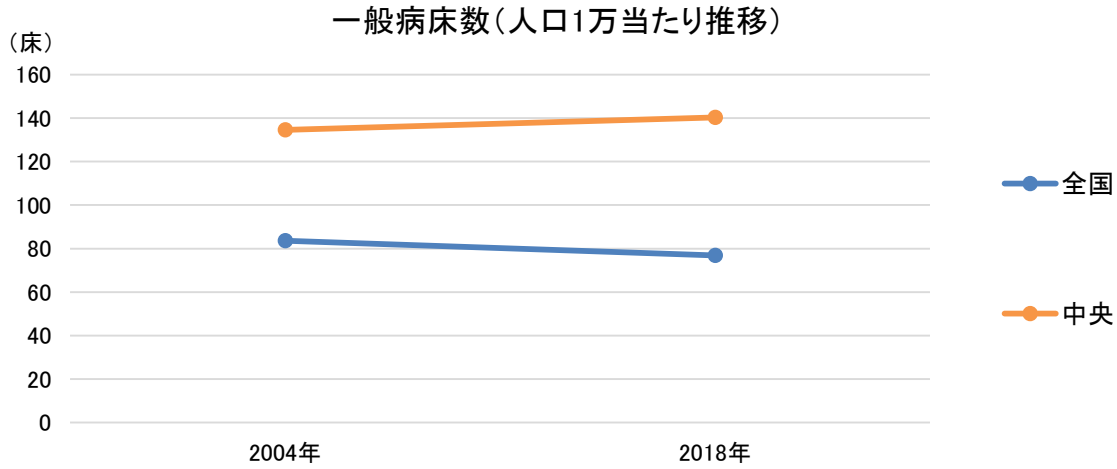
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が1,771人(人口10万人当たり311人(全国平均212人)偏差値62)であったが、2018年に1,880人(人口10万人当たり350人(全国平均245人)偏差値61)と、109人の増加、率にして6%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



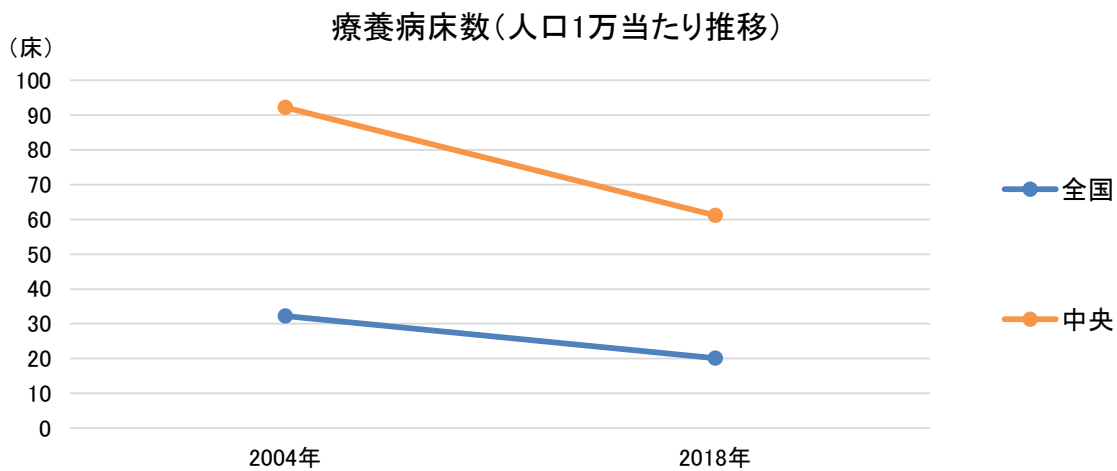
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が7,675床(人口1万人当たり135(全国平均84)偏差値68)であったが、2018年に7,534床(人口1万人当たり140(全国平均77)偏差値75)と、141床の減少、率にして2%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



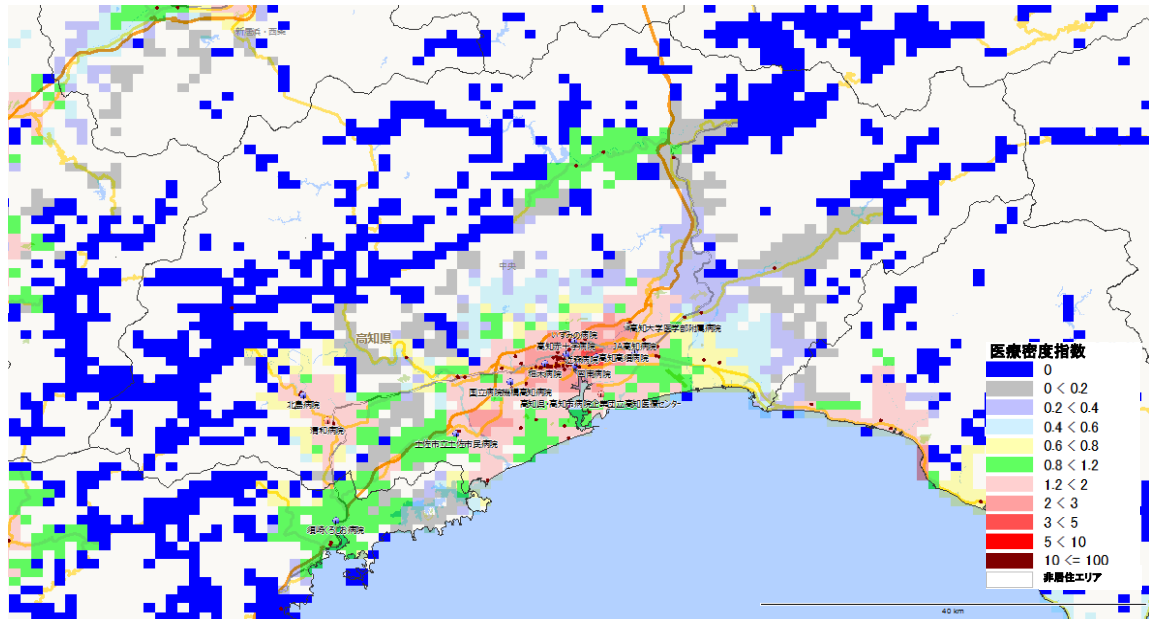
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が6,416床(75歳以上1,000人当たり92(全国平均32)偏差値84)であったが、2018年に5,128床(75歳以上1,000人当たり61(全国平均20)偏差値87)と、1288床の減少、率にして20%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



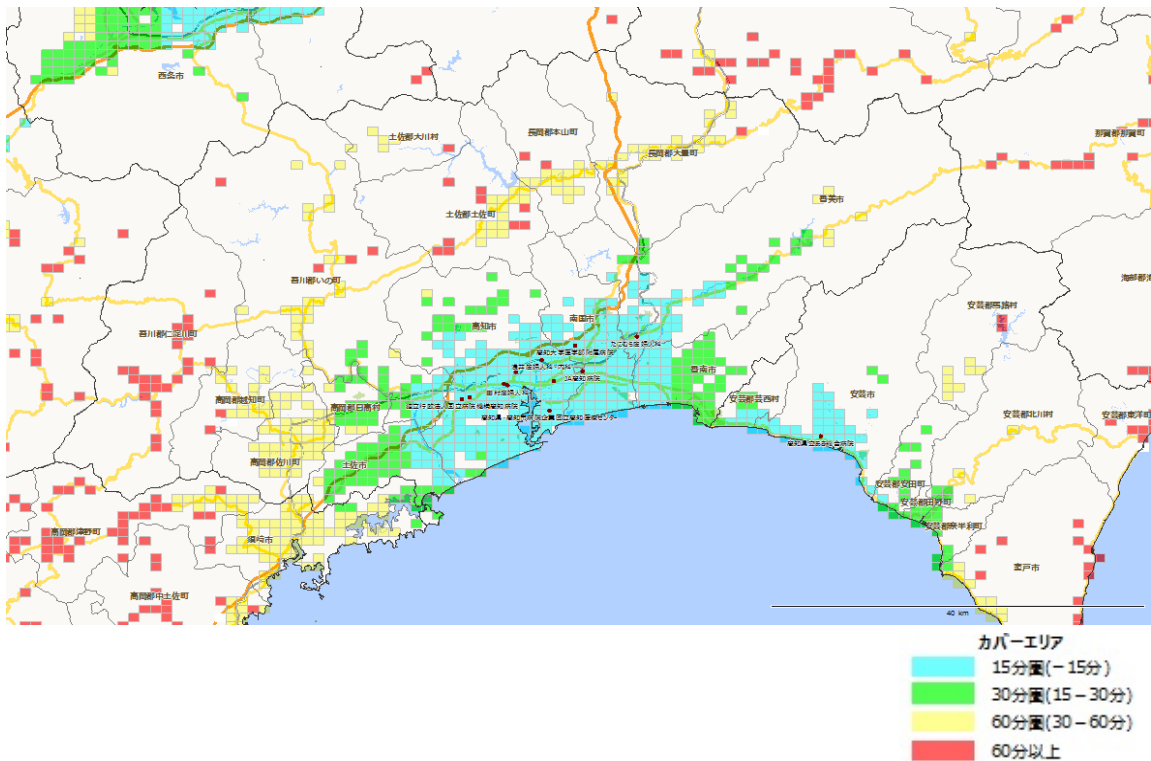
(中央医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表39-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表39-2-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400））

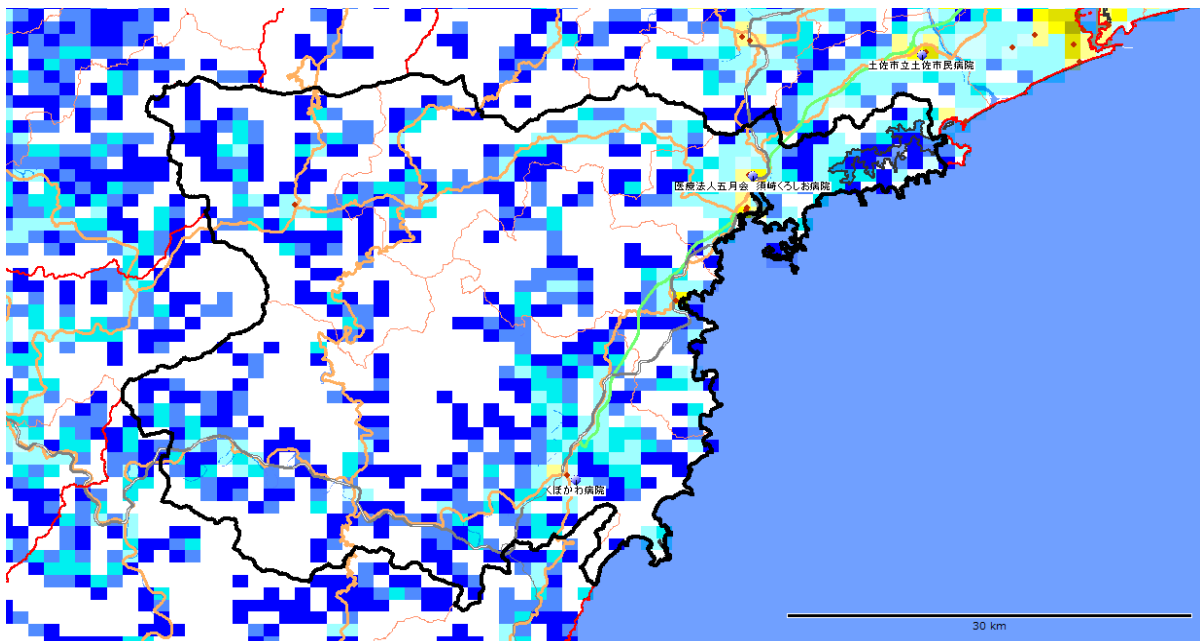


39-3. こうばん 高幡医療圏

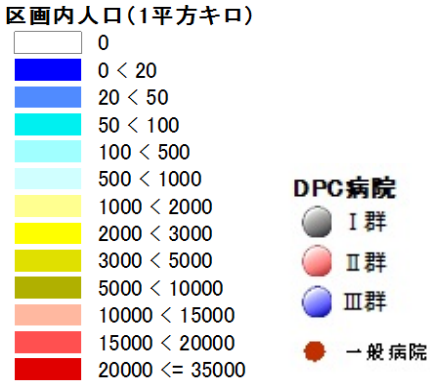
構成市区町村 [須崎市](#) [中土佐町](#) [梶原町](#) [津野町](#)
 [四万十町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS
 Market Analyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ



(高幡医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 高幡(須崎市)は、総人口約56千人(2015年)、面積1,405km²、人口密度は40人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 高幡の総人口は2025年に46千人へと減少し(2015年比-18%)、2040年に33千人へと減少する(2025年比-28%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の13千人が、2025年にかけて13千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年には11千人へと減少する(2025年比-15%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 高幡の一人当たり医療費(国保)は385千円(偏差値57)、介護給付費は278千円(偏差値57)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 高幡の一人当たり急性期医療密度指数は0.53、一人当たり慢性期医療密度指数は3.44で、急性期の医療はかなり少ないが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が41(病院医師数43、診療所医師数36)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は52と全国平均レベルである。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は45で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は32と非常に少ない。高幡には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は77と療養病床数は非常に多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値70と非常に多く、回復期病床数は偏差値70と非常に多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は56で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は47で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 高幡の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,212人(75歳以上1,000人当たりの偏差値43)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が870床(偏差値55)、高齢者住宅等が342床(偏差値39)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,040人(75歳以上1,000人当たりの偏差値52)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設37、特別養護老人ホーム56、介護療養型医療施設70、有料老人ホームなし(偏差値36)、軽費ホーム69、グループホーム60、サ高住34である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値32と非常に少なく、在宅療養支援病院は偏差値70と非常に多い。また、訪問看護ステーションは偏差値25と非常に少ない。介護職員(在宅)の合計は、60人(75歳以上1,000人当たりの偏差値34)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は+5%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(高幡医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

高幡医療圏の総人口は、2005年66,373人が、2015年に56,173人と15%減少し、2025年の人口が46,377人と予測され、2005年→2025年の間に30%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に4%減少し、2015年から2025年にかけて9%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

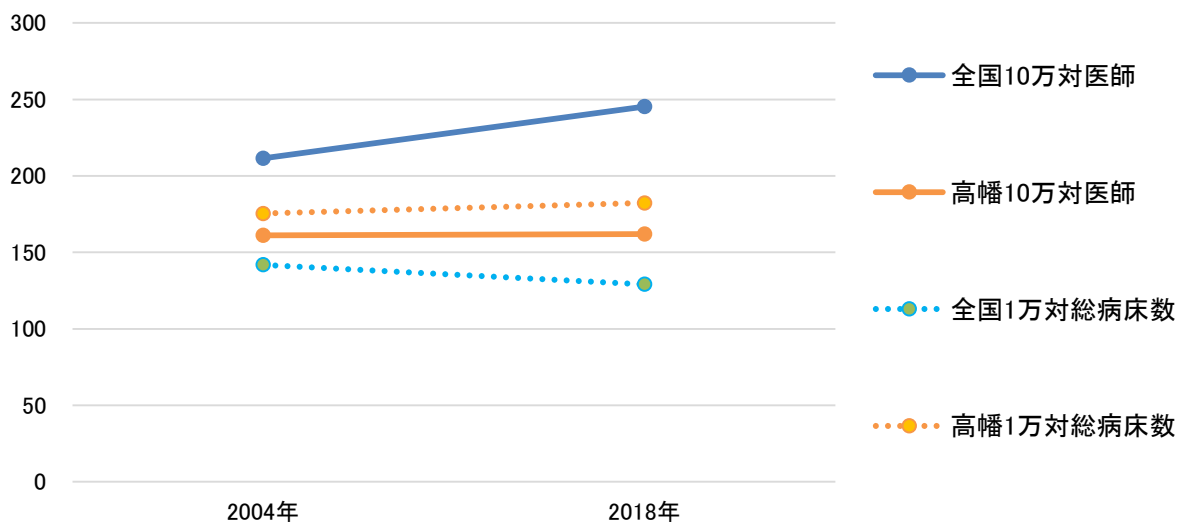
2004年の病院数が8(人口10万人当たり12.1病院(全国平均7.1)偏差値63)であったが、2018年に8(人口10万人当たり14.2病院(全国平均6.6)偏差値69)となり、14年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が51(人口10万人当たり77診療所(全国平均76)偏差値50)であったが、2018年に42(人口10万人当たり75診療所(全国平均80)偏差値47)と、9診療所が減少した。

2004年の総病床数が1,164床(人口1万人当たり175(全国平均142)偏差値56)であったが、2018年に1,024床(人口1万人当たり182(全国平均129)偏差値60)と、140床の減少、率にして12%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

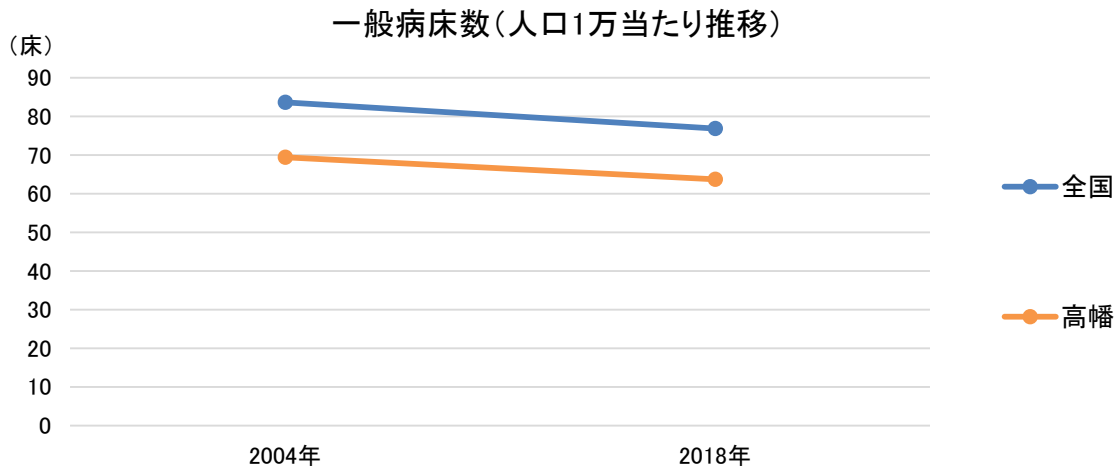
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が107人(人口10万人当たり161人(全国平均212人)偏差値44)であったが、2018年に91人(人口10万人当たり162人(全国平均245人)偏差値41)と、16人の減少、率にして15%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



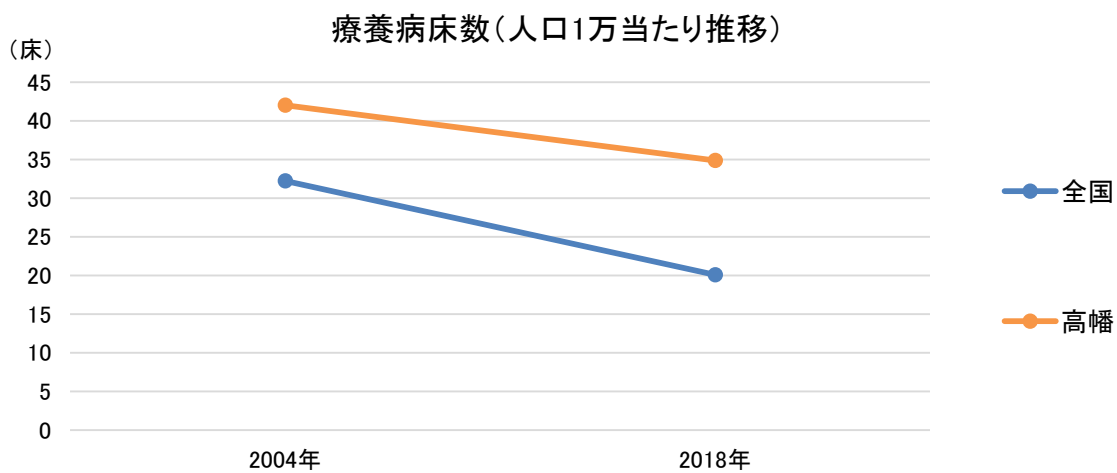
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が461床(人口1万人当たり69(全国平均84)偏差値45)であったが、2018年に358床(人口1万人当たり64(全国平均77)偏差値45)と、103床の減少、率にして22%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



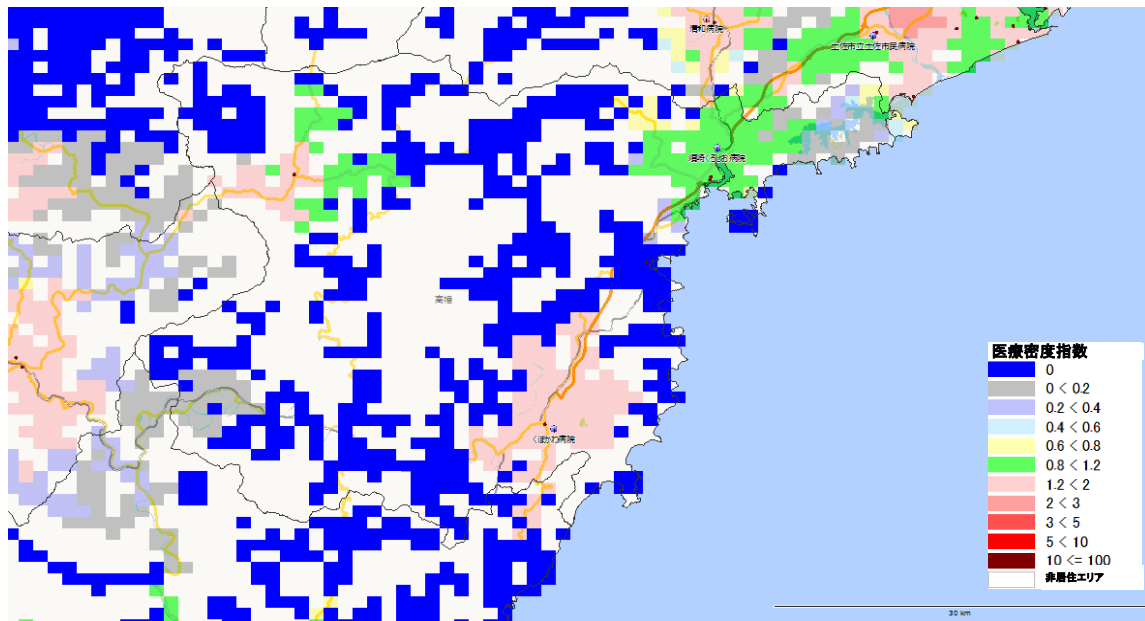
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が485床(75歳以上1,000人当たり42(全国平均32)偏差値56)であったが、2018年に448床(75歳以上1,000人当たり35(全国平均20)偏差値63)と、37床の減少、率にして8%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



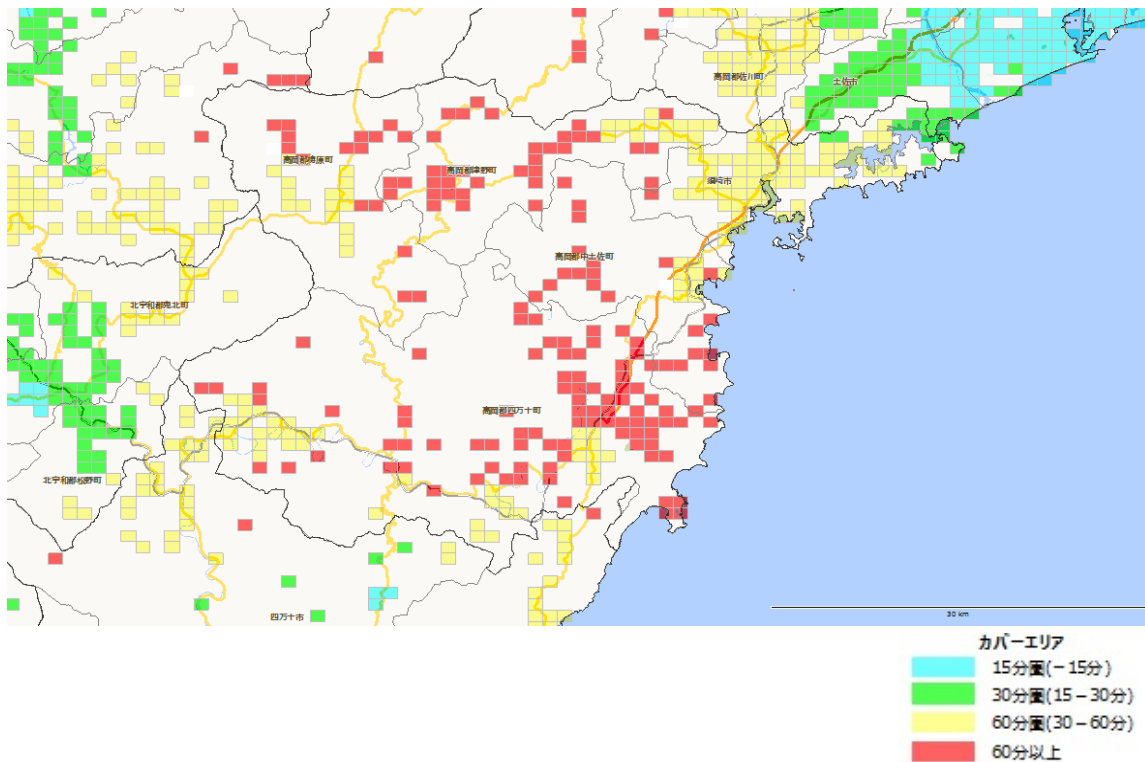
(高幡医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表39-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表39-3-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))



(幡多医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 幡多(宿毛市)は、総人口約87千人(2015年)、面積1,562km²、人口密度は56人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 幡多の総人口は2025年に73千人へと減少し(2015年比-16%)、2040年に54千人へと減少する(2025年比-26%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の18千人が、2025年にかけて20千人へと増加し(2015年比+11%)、2040年には17千人へと減少する(2025年比-15%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 幡多の一人当たり医療費(国保)は383千円(偏差値56)、介護給付費は259千円(偏差値51)であり、医療費は高く、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 幡多の一人当たり急性期医療密度指数は1.13、一人当たり慢性期医療密度指数は1.39で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が44(病院医師数48、診療所医師数35)と、総医師数と診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は63と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は61で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は38と少ない。幡多には、年間全身麻酔件数が1000例以上の高知県立幡多けんみん病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は75と療養病床数は非常に多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値70と非常に多く、回復期病床数は偏差値57と多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は57で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は44で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 幡多の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,962人(75歳以上1,000人当たりの偏差値53)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,298床(偏差値59)、高齢者住宅等が664床(偏差値46)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,472人(75歳以上1,000人当たりの偏差値53)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設51、特別養護老人ホーム54、介護療養型医療施設67、有料老人ホーム42、軽費ホーム90、グループホーム62、サ高住32である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値34と非常に少なく、在宅療養支援病院は偏差値53とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値41と少ない。介護職員(在宅)の合計は、160人(75歳以上1,000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は+14%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

(幡多医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

幡多医療圏の総人口は、2005年101,277人が、2015年に86,884人と14%減少し、2025年の人口が72,845人と予測され、2005年→2025年の間に28%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に2%減少し、2015年から2025年にかけて6%程度の減少が予測される。

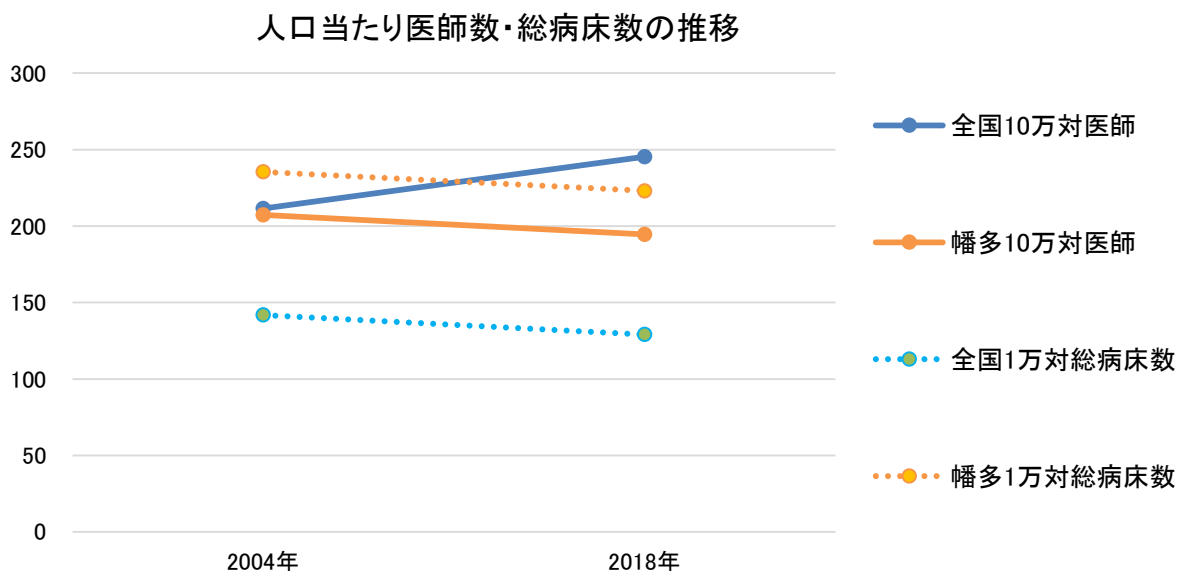
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が20(人口10万人当たり19.7病院(全国平均7.1)偏差値83)であったが、2018年に18(人口10万人当たり20.7病院(全国平均6.6)偏差値86)となり、14年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が73(人口10万人当たり72診療所(全国平均76)偏差値48)であったが、2018年に60(人口10万人当たり69診療所(全国平均80)偏差値44)と、13診療所が減少した。

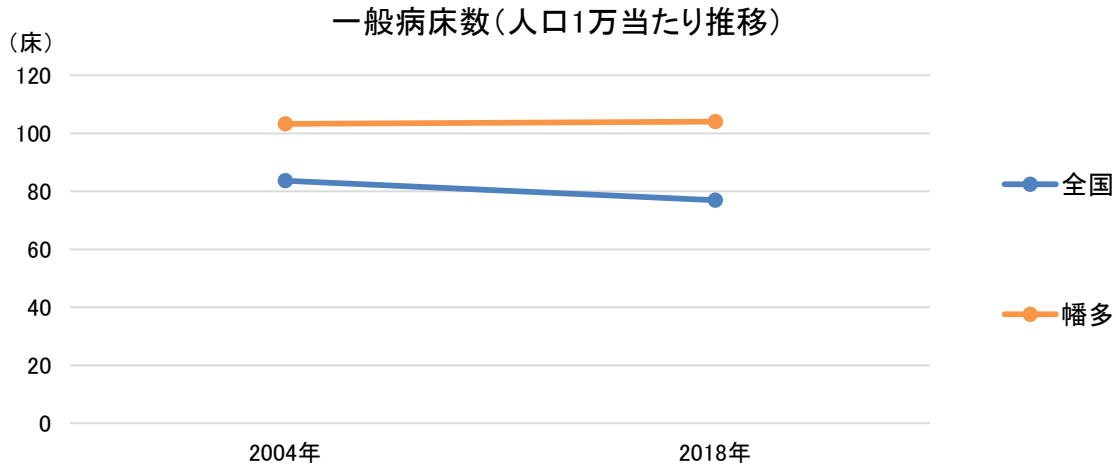
2004年の総病床数が2,385床(人口1万人当たり235(全国平均142)偏差値67)であったが、2018年に1,938床(人口1万人当たり223(全国平均129)偏差値68)と、447床の減少、率にして19%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が210人(人口10万人当たり207人(全国平均212人)偏差値49)であったが、2018年に169人(人口10万人当たり195人(全国平均245人)偏差値44)と、41人の減少、率にして20%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



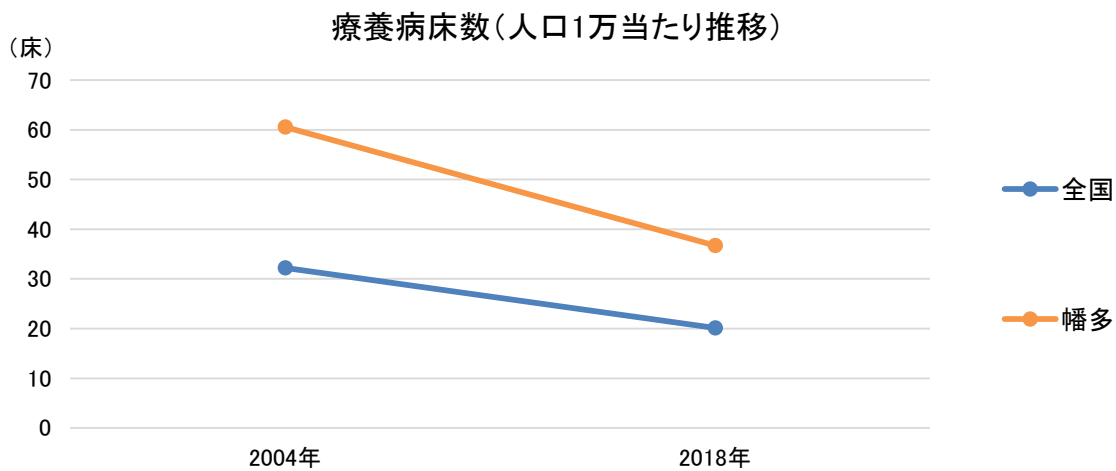
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1,046床(人口1万人当たり103(全国平均84)偏差値57)であったが、2018年に904床(人口1万人当たり104(全国平均77)偏差値60)と、142床の減少、率にして14%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



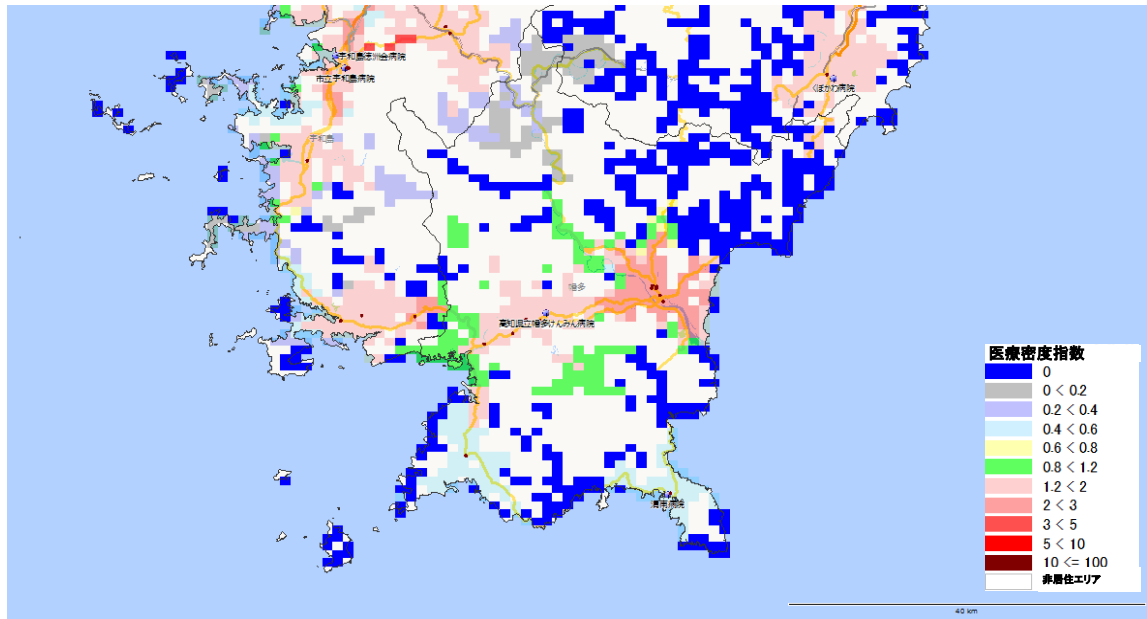
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が959床(75歳以上1,000人当たり61(全国平均32)偏差値66)であったが、2018年に654床(75歳以上1,000人当たり37(全国平均20)偏差値65)と、305床の減少、率にして32%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



(幡多医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表39-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表39-4-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

